

農薬安全使用チェックリスト

(ポジティブリスト制対応)

様式②

日付らんに農薬を散布した月日を記入し、空白らんに○印やメモを記入。／を入れたらんにはそれぞれの確認日を記入する。

項目	日付														
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
共通管理編	①購入した種苗で使用された農薬を確認する	／	※ 農薬総使用成分回数には、購入前の農薬使用を加算する必要があります。												
	②農薬の使用基準(ラベル)を確認する														
	③農薬希釈用の水は、清浄なものが確保できるよう配慮する														
	④散布機具の洗浄を十分行う (散布機具名)														
農薬飛散防止編	①無風または風の弱いことを確認して散布する														
	(風があった場合は、風向きを確認し、方角を記入)														
	②農薬散布時、周辺ほ場に収穫時期の作物があるか(作物名)														
	③農薬飛散防止対策の実施内容(実施したものに○をつける)	近隣農家との話し合い・緩衝地帯・飛散防止ノズルの使用・遮蔽作物・防護ネット・その他()													
出荷調整	④近隣農家と農薬散布について情報交換を行う	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
	①出荷調整や農産物の運搬時に、農薬や家庭用殺虫剤等が接触しないよう注意する。	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	
	②異物・危険物の混入に注意する(タバコ、毛髪等)	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	

- ※ 土壌施用農薬等、残留の可能性があるものは、作付け前に自主分析等でチェックしておく必要があります。
- ※ 周辺ほ場の作物に対して登録のない農薬を、特にその収穫時期に散布する場合は飛散しないよう最大限の注意を払いましょう。
- ※ 農薬飛散防止対策は、使用農薬や散布時期、作物の収穫時期等について、周辺ほ場の生産者とよく話し合っておくことが大切です。
- ※ 万が一問題が発生した場合の対応方法について、日頃から検討しておきましょう。